

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 11月 17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490101080		
法人名	フライングスタート合同会社		
事業所名	グループホームひだまり		
所在地	広島市安佐北区落合南4丁目41-21 (電話) 082-845-3070		
自己評価作成日	令和2年10月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490101080-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和2年11月12日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

その人らしい生き方を考え、笑顔が多く見られるように興味のある事を提供します。体力低下を防止するためにその方に合った運動レクや散歩をして頂いてます。また看取り介護も行っており最後まで自分らしく過ごして頂けるように安全、安楽に支援致してます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所では、利用者それぞれの思いを大切に、やりがいや生きがいを感じてもらえることを重視しているほか、できることは自分で行う生活リハビリの視点を取り入れつつ、優しい声かけを目指している。
秋祭りやとんどなどの地域行事にも積極的に参加し、餅つきや子ども神輿など利用者が喜ぶ体験を取り入れているほか、食事の栄養面に配慮する「栄養課」の設置や、看護師の常勤配置など利用者の健康面の対策を重視している。
令和元年12月に事業継承が行われて現在の法人になったが、事業所名も職員の公募で決定するなど職員意見を重視した取り組みがなされている。

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としています。ミーティングで理念の研修を行っています。	事業所の理念は職員が出勤してすぐに確認できる場所に掲示しているほか、ミーティング等においても随時確認している。一人ひとりの利用者が自分らしく生活できるような配慮をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会行事(とんど・盆踊り・秋祭り等)への参加を積極的に取り入れている。GH行事の餅つきを見える玄関で行い地域の方に声掛け参加される。散歩等で地域の人にあった場合挨拶を必ず行うようにし、交流できるように努めています。	町内会行事には職員も積極的に参加し、町内と密接な付き合いを行っている。また、日頃から近所の公園に散歩に行く際は挨拶をするなど、地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事に参加することで、地域の方とご利用様との関わりを大切にしています。地域の方が訪問しやすい環境を作り、認知症のご利用者様を知って頂けるよう努力しています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告も行い、意見を頂きサービス向上に活かしています。地域のイベントを教えて頂き外出レクに取り入れています。	運営推進会議には、町内会長や民生委員、地域包括支援センター職員の参加がある。会議では、事業所内の行事のほか、事故やヒヤリハット対策も話し合わせ、参加者から運営に関する意見を聴取している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	隔月開催の運営推進会議には、地域包括支援センター職員に開催・出席を呼びかけ、ご都合に応じて参加を得ています。毎回、会議記録を安佐北区介護保険課にFAX送信し、協議内容を報告しています。	市の介護保険担当当局には運営推進会議の報告をはじめ、生活課とは利用者に関する連絡を行っている。また、市とは事業所運営に関する相談を適宜行うほか、地域包括支援センターとの連絡等も行っている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は、毎月開催のフロアミーティングで具体例を挙げて身体拘束とみられかねない行為などについて指摘、指導や確認など行っています。3点ベッド柵や拘束バンドは使用していません。	職員間のミーティングにおいて身体拘束予防に関する研修会を行っているほか、日常的な業務の中では、本人が不安にならないような声かけの方法、言葉での拘束にも注意を払っている。本人本位に考え、研修や体制を整えることで身体拘束をしないケアの実践を心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	フロアミーティングで研修を行い、全職員が共有できるようにしています。また、入浴介助などの身体が見える時にご入所者の身体に不審な傷・痣等ができていないか必ず確認をして報告しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者がご利用者様の状態把握をすることで家族と制度利用について話ができる状態です。必要時に後見人制度等について管理者が説明できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、細かい仕組み、体制、費用などについて、書類を読み上げて説明しています。特に健康管理や重篤時の対応などは丁寧に説明し、ご理解・ご納得をいただけるよう心がけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的にご入所様と接する中で細かい要望なども積極的に聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。またご家族のご来所時には、我々への要望・思いや苦情等は、積極的に管理者にて機会を設けてお聞きするようにしています。	日常的に利用者と接する時や、家族面会時に職員から聞き取りを行ったり、細かな要望の聞き取りを行っている。感染対策を整えながら、短時間での面会であるが、適宜電話フォローも行っている。面会后、行事への参加を家族に促すなど、運営に関する意見の聴取に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から、意見を出しやすい雰囲気作りに心がけて月一回のミーティングで、職員の意見を聞く機会を設けています。</p>	<p>職員ミーティングにおいて個別のケアについての意見や提案を受けるように努めている。その結果、スケジュールの工夫や職員配置、業務の流れなどの改善が行われている。また、季節の食材を使った料理の提案や、職員が使いやすい冷蔵庫の購入など、具体的な改善につながっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入しており、管理者及び職員の目標や実績、勤務状況を把握して職場環境や条件の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて外部研修に参加したり、資料の回覧をしたり、社内のミーティング時に研修会を実施しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会等に参加し、同業者との交流を図っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に担当ケアマネジャーから情報を頂き、管理者・ケアマネ・職員で打ち合わせを行っています。ご本人やご家族に今までの暮らしぶりや習慣など伺いながら不安、要望等を傾聴し安心して頂けるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。</p>	<p>入居前にはご家族と面談を行って話を伺うようにしています。ご要望に対して柔軟に対応できるよう心掛けるとともに、出来ること出来ないことについても説明し、不安がないように努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者としっかり関わりを持ち、言葉や態度、表情などから不満や不安を読み取るよう努力しています。またご家族が何でも話していただけるような関係作り、雰囲気作りに努め、行事等に参加していただいた時には感想やご意見を伺うようにしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で、後片付け、掃除、洗濯干し・たたみ等、利用者様が出来る事は積極的に声掛けをし、職員と一緒にいき家庭的な雰囲気作りに努めています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には本人の日々の状況などをお伝えしながら、情報交換を密にして、一緒に本人を支えていく人間関係を築く努力をしています。面会に来られない方には電話でお伝えしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族の協力を得て、外食・墓参り・毎週自宅に帰り泊まる等、一人ひとりの馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援をしています。</p>	<p>感染症対策を行いながら、家族の協力を得ての外出支援や、年末年始における帰省など、本人がこれまで大切にしてきた関係性が途切れないよう支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご入居者様同士の関係を勧誘し、食事の席やレクリエーションの席等を配置しています。利用者同士がトラブルになりそうな時は、職員が中に入ったりと臨機応変に対応しています。一人でおられる時は職員が積極的に話しかけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるよう努力しています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の嗜好に合わせ、ノンアルコールビールの提供など、できるだけ本人の希望や意向に沿った対応を行っています。こちらのペースでなく本人様のペースに合わせるよう努めています。	囲碁やそろばん、ノンアルコールビールなど、本人の昔からの趣味や嗜好など、家族からの聞き取りをもとに、好みに応じた対応を行うことで、一人ひとりの思いや意向の把握に努め、事業所運営にも結び付けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族・友人などの面会時、少しずつ昔のお話を聞き把握する様に努めています。日常の会話の中で回想する事により、個々の生活歴などの情報を把握できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者の変化や新しい気付きなどを記録に残し、毎日朝夕の申し送りの中で伝え合い、フロアノートも活用して日々情報収集を行って職員全員が共有できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、3ヶ月に一度モニタリングを行っています。 ケアカンファレンスは更新時・利用者の状況変化時に行い、その際には、管理者・介護支援専門員・家族・職員が話し合い、要望を取り入れてケアプランの見直しを行っています。</p>	<p>利用者ごとに担当を配置し、カンファレンスにおいては主治医や看護職員も交え介護計画づくりが行われている。 利用者のケース記録はファイルにまとめられ職員が回覧し、事業所内で情報共有が図られ、計画の見直し等も随時行われている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人日誌、業務日誌、申送りノートに記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>買い物や外食、お花見などの外出支援を行っています。 訪問理美容や利用者によって訪問マッサージを受けておられます。 ご本人の希望で新聞を取っている利用者もおられます。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議で、町内会長や民生委員の方や地域包括支援センターの方達から地域の行事などのお話しをお聞きし参加出来る時はしています。 また地域の中学校から、職場体験としての受け入れ等も行っています。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時、協力医の説明を行うと同時に本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由なことも説明しています。協力医の訪問診療は月2回、必要時や緊急時は常に連絡が取れる体制が出来ています。又、定期的な訪問歯科の往診以外に希望される方はかかりつけの歯科に受診されています。</p>	<p>入居時に事業所の協力医かそれまでのかかりつけ医かを選ぶことができ、かかりつけ医受診時には家族の協力のもと適切な受診ができるよう配慮している。協力医は内科・泌尿器科を専門とし、事業所の常勤看護師とも協力しながら適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>施設内の看護師と連携を密にし状態の変化などを報告し医療に繋がっています。また、訪問看護ステーションと契約をし、定期的に数名の看護師に来て頂き迅速な対応をしています。夜間帯や休日なども、iPhoneのSNSを利用して、24時間連絡体制がとれるようになっています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医と入院機関との連携にも努め、すぐに情報提供を行うよう努めております。定期的に管理者・看護師・介護支援専門員が面会に行き、看護師・相談員に状態をお聞きし早期の退院ができるような対応をしています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>ご利用される時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいています。ご利用後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医師・看護師・管理者と共に、ご家族と今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いています。</p>	<p>入居時、重度化した場合の対応について説明を行い、実際に重度化した場合には再度家族を交えて説明を行っている。介護職員からすぐに管理者または看護職員に電話連絡できる体制にあり、看取り対応も行うなど、チームで協力して支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時などは、マニュアルに沿って連絡網で、即時に情報が流れるよう体制をとっています。毎月の職員会議では、これまで発生した事故・ヒヤリをもとに振り返り、改善などについて意見交換をしています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署の協力を得て年2回、火災避難訓練・消火訓練を実施しています。</p>	<p>年2回避難訓練を実施し、その際は避難誘導時の声掛けの方法など、消防署の指導を受けながら訓練を実施している。また、地域の方に避難時の見守りについて依頼をしたり、非常食の備蓄を行っているほか、実際に非常食が使用できるか訓練時にチェックするなど、災害対策に力を入れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人にあった対応をするため、ミーティングにて、職員間で情報を共有し、誇りやプライバシーを損ねないよう意識の向上に努めています。入浴、排泄等、羞恥心に配慮をして行い、記録物などの取り扱いにも注意しています。	トイレ誘導時や入浴介助、排泄時の処理の際も声かけに注意を払うなど、一人ひとりの人格を尊重しプライバシーの配慮を行っている。また、職員同士声をかけ合い、適切な言葉かけについても日頃から注意を払うように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の要望や思いなどに素直に耳を傾け、また、自己決定できるような問いかけをしています。その中で出来る事は対応し、出来ない事については丁寧に説明しています。場合によっては、管理者を交えて話し合い、納得を得られるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者のその日の体調等を考慮し、その方の思いや要望をお聞きして、最適な過し方が出来るように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、ご本人の好みの洋服に着替えていただきます。化粧品もご本人、ご家族の希望があれば使っていただいています。定期的に理美容サービスに来ていただき、ご本人の希望に合わせてカット・カラー・パーマをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事作りへの参加はありませんが、時々、ホットプレートを使用の際は一緒に作っていただいて、食器等の後片付けは無理の無い程度に一緒に手伝って頂いています。温かい物は温かい内に、常に美味しく召し上がっていただけるよう提供しています。	炒め物を一緒にしたりお好み焼きをひっくり返す作業を一緒に行うなど、食事の準備を手伝ってもらうことで食事を楽しんでもらうような配慮を行っている。また、「栄養課」という職員を配置し、体調や栄養面、スムーズな排泄の配慮など、食事を楽しみつつ栄養も摂れる体制づくりが行われている。	

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の水分摂取量は、1000～1300ccを目標としています。水分量、食事を記録し一人一人の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態にて対応させて頂いています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後行い、義歯使用者は週2回夕食後に洗浄剤にて消毒をしています。また月1回協力歯科の先生に来て頂き、治療についての相談や口腔内のケアをしていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表にて、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけにてトイレに誘導をしています。また動作・表情などを察知して、トイレ誘導をし、気持ちよく排泄していただくよう取り組んでいます。</p>	<p>排泄チェック表を使用してパターンを把握したり、腰を曲げる運動で腹圧をかけ排泄しやすい生活習慣の支援を行っている。また、栄養課による便通がしやすい食事の提供、トイレでの排泄支援の取り組み等も行っている。その結果、入居後に布パンツへの変更など、排泄の自立のための取り組みが行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日朝にカフェオレやヨーグルトを摂取してもらい、適度な運動や散歩でなるべく自然排便ができるよう取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の身体状況に応じ個浴、リフト浴を使用しています。又、必要に応じて清拭、シャワー浴等、工夫しながら清潔保持に努めています。入浴を楽しんでいただくため、入浴剤を使用しています。</p>	<p>一人ひとりの身体状況に応じ、個別浴槽やリフトの使用、必要に応じてシャワー浴や清拭など、安全に入浴を楽しみつつ身体の清潔保持に努めている。利用者はおよそ週2回入浴でき、時に入浴剤を使用するなど、入浴を楽しむことができるような支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や習慣に合わせてご本人の ペースで昼寝の時間をとり、休 息して頂いています。夜間の安 眠につながるよう日中は、適 度な運動や散歩などを心掛けて います。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局と連携を取りながら、薬の 飲み合わせや副作用について説 明を受け支援を行っています。 誤薬防止のためWチェック、内 服時に名前、何日、何食の声出 し確認も行っています。薬変更 後は状態が改善されたか副作用 が無いかなどを確認し報告して います。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>個々で役割をもって頂き、ご 利用者様同士一緒に助け合いな がら過ごせるようにしています。 お酒も相談にのって対応してい る。個別の楽しみが継続でき るようにしています。花や野菜 を育てるので好きな方は玄関や 中庭で植えられます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>日常的な散歩に加え、花見や紅 葉狩りに出かけたりドライブし ながら昼食やデザートを食べに 行くなど、普段行けないような ところへも希望に沿いながら出 来る限りの外出支援を行ってい ます。</p>	<p>感染症対策を実施しながら、少 人数で外出し近所の公園への散 歩など、季節を楽しんでもらう ように支援している。また、感 染症が落ち着く前提で、近所 のファミリーレストラン等への 外食やドライブ等に出かけるな ど、できるだけ外出ができるよ うな支援が行われている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>本人様が金銭を保管することは トラブルにつながるのでは、ご 家族様にその旨をお伝えし持 って帰っていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(さくら)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご自分より手紙を出されたりされることはないが、届いた手紙はご本人に手渡しています。電話がかかって来た時はご本人に代わりお話しして頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	中庭に季節の木や花を植えている。居室や共用部分は常に清潔にし、温度湿度管理を行い気持ちよく過ごして頂けるよう配慮しています。	回廊式の建物構造となっており、中庭には紅白のハナミズキや段差のないウッドデッキがあり、室内にしながら季節を感じることができる。また、窓際に腰掛けができるスペースや、アイランドキッチンによる共有空間の一体感がある。清掃や温度管理にも配慮がなされ、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下にソファを置き中庭の花や木を眺めながら自由に座って頂ける様にしています。天気の良い時は中庭のベンチで日向ぼっこをされ、くつろいでおられます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時、好みの物や自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂くようにし、居室が落ち着く場所になるよう配慮しています。	居室内はフラットな床に畳が設置されているほか、窓が障子風の日本式の室内という工夫をしている。また、家族の写真やタンス、仏壇など本人が好むものを持ち込むことができるようになっており、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置してあり、安全面に配慮しています。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用しています。		

V アウトカム項目(さくら) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としています。ミーティングで理念の研修を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会行事（とんど・盆踊り・秋祭り等）への参加を積極的に取り入れている。GH行事の餅つきを見える玄関で行い地域の方に声掛け参加される。散歩等で地域の人にあった場合挨拶を必ず行うようにし、交流できるように努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事に参加することで、地域の方とご利用様との関わりを大切にしている。地域の方が訪問しやすい環境を作り、認知症のご利用者様を知って頂けるよう努力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告も行き、意見を頂きサービス向上に活かしています。地域のイベントを教えて頂き外レクに取り入れてます。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	隔月開催の運営推進会議には、地域包括支援センター職員に開催・出席を呼びかけ、ご都合に応じて参加を得ています。毎回、会議記録を安佐北区介護保険課にFAX送信し、協議内容を報告しています。		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員は、毎月開催のフロアーミーティングで具体例を挙げて身体拘束とみられかねない行為などについて指摘、指導や確認など行っています。3点ベッド柵や拘束バンドは使用していません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	フロアーミーティングで研修を行い、全職員が共有できるようにしています。また、入浴介助などの身体が見える時にご入所者の身体に不審な傷・痣等ができていないか必ず確認をして報告しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者がご利用者様の状態把握をすることで家族と制度利用について話ができる状態である。必要時に後見人制度等について管理者が説明できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、細かい仕組み、体制、費用などについて、書類を読み上げて説明しています。特に健康管理や重篤時の対応などは丁寧にご説明し、ご理解・ご納得をいただけるよう心がけています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常的にご入所様と接する中で細かい要望なども積極的に聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。またご家族のご来所時には、我々への要望・思いや苦情等は、積極的に管理者にて機会を設けてお聞きするようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日頃から、意見を出しやすい雰囲気作りに心がけて月一回のミーティングで、職員の意見を聞く機会を設けています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入しており、管理者及び職員の目標や実績、勤務状況を把握して職場環境や条件の整備に努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて外部研修に参加したり、資料の回覧をしたり、社内のミーティング時に研修会を実施しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会等に参加し、同業者との交流を図っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に担当ケアマネジャーから情報を頂き、管理者・ケアマネ・職員で打ち合わせを行っています。ご本人やご家族に今までの暮らしぶりや習慣など伺いながら不安、要望等を傾聴し安心して頂けるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	入居前にはご家族と面談を行って話を伺うようにしています。ご要望に対して柔軟に対応できるよう心掛けるとともに、出来ること出来ないことについても説明し、不安がないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者としっかり関わりを持ち、言葉や態度、表情などから不満や不安を読み取るよう努力しています。またご家族が何でも話していただけるような関係作り、雰囲気作りに努め、行事等に参加していただいた時には感想やご意見を伺うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で、後片付け、掃除、洗濯干し・たたみ等、利用者様が出来る事は積極的に声掛けをし、職員と一緒にいき家庭的な雰囲気作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には本人の日々の状況などをお伝えしながら、情報交換を密にして、一緒に本人を支えていく人間関係を築く努力をしています。面会に来られない方には電話でお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の協力を得て、外食・墓参り・毎週自宅に帰り泊まる等、一人ひとりの馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご入居者様同士の関係を勧誘し、食事の席やレクリエーションの席等を配置しています。利用者同士がトラブルになりそうな時は、職員が中に入ったりと臨機応変に対応しています。一人でおられる時は職員が積極的に話しかけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるよう努力しています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の嗜好に合わせ、ノンアルコールビールの提供など、できるだけ本人の希望や意向に沿った対応を行っています。こちらのペースでなく本人様のペースに合わせるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族・友人などの面会時、少しずつ昔のお話を聞き把握する様に努めています。日常の会話の中で回想する事により、個々の生活歴などの情報を把握できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者の変化や新しい気付きなどを記録に残し、毎日朝夕の申し送りの中で伝え合い、フロアノートも活用して日々情報収集を行って職員全員が共有できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	利用者毎に担当者を決め、3ヶ月に一度モニタリングを行っています。 ケアカンファレンスは更新時・利用者の状況変化時に行い、その際には、管理者・介護支援専門員・家族・職員が話し合い、要望を取り入れてケアプランの見直しを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人日誌、業務日誌、申送りノートに記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	買い物や外食、お花見などの外出支援を行っています。 訪問理美容や利用者によって訪問マッサージを受けておられます。 ご本人の希望で新聞を取っている利用者もおられます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	運営推進会議で、町内会長や民生委員の方や地域包括支援センターの方達から地域の行事などのお話しをお聞きし参加出来る時はしています。 また地域の中学校から、職場体験としての受け入れ等も行っていきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時、協力医の説明を行うと同時に本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由なことも説明しています。協力医の訪問診療は月2回、必要時や緊急時は常に連絡が取れる体制が出来ています。又、定期的な訪問歯科の往診以外に希望される方はかかりつけの歯科に受診されています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師と連携を密にし状態の変化などを報告し医療に繋がっています。また、訪問看護ステーションと契約をし、定期的に数名の看護師に来て頂き迅速な対応をしています。夜間帯や休日なども、iPhoneのSNSを利用して、24時間連絡体制がとれるようになっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医と入院機関との連携にも努め、すぐに情報提供を行うよう努めております。定期的に管理者・看護師・介護支援専門員が面会に行き、看護師・相談員に状態をお聞きし早期の退院ができるような対応をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用される時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいています。ご利用後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医師・看護師・管理者と共に、ご家族と今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時などは、マニュアルに沿って連絡網で、即時に情報が流れるよう体制をとっています。毎月の職員会議では、これまで発生した事故・ヒヤリをもとに振り返り、改善などについて意見交換をしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て年2回、火災避難訓練・消火訓練を実施しています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人にあった対応をするため、ミーティングにて、職員間で情報を共有し、誇りやプライバシーを損ねないよう意識の向上に努めています。入浴、排泄等、羞恥心に配慮をして行い、記録物などの取り扱いにも注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の要望や思いなどに素直に耳を傾け、また、自己決定できるような問いかけをしています。その中で出来る事は対応し、出来ない事については丁寧に説明しています。場合によっては、管理者を交えて話し合い、納得を得られるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者のその日の体調等を考慮し、その方の思いや要望をお聞きして、最適な過ごし方が出来るように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、ご本人の好みの洋服に着替えていただきます。化粧品もご本人、ご家族の希望があれば使っていただいています。定期的に理美容サービスに来ていただき、ご本人の希望に合わせてカット・カラー・パーマをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事作りへの参加はありませんが、時々、ホットプレートを使用の際は一緒に作っていただいて、食器等の後片付けは無理の無い程度に一緒に手伝って頂いています。温かい物は温かい内に、常に美味しく召し上がっていただけるよう提供しています。		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の水分摂取量は、1000～1300ccを目標としています。水分量、食事量を記録し一人一人の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態にて対応させて頂いています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後行い、義歯使用者は週2回夕食後に洗浄剤にて消毒をしています。また月1回協力歯科の先生に来て頂き、治療についての相談や口腔内のケアをしていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表にて、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけにてトイレに誘導をしています。また動作・表情などを察知して、トイレ誘導をし、気持ちよく排泄していただくよう取り組んでいます。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日朝にカフェオレやヨーグルトを摂取してもらい、適度な運動や散歩でなるべく自然排便ができるように取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の身体状況に応じ個浴、リフト浴を使用しています。又、必要に応じて清拭、シャワー浴等、工夫しながら清潔保持に努めています。入浴を楽しんでいただくため、入浴剤を使用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や習慣に合わせてご本人の ペースで昼寝の時間をとり、休 息して頂いています。夜間の安 眠につながるよう日中は、適 度な運動や散歩などを心掛け ています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局と連携を取りながら、薬の 飲み合わせや副作用について説 明を受け支援を行っています。 誤薬防止のためWチェック、 内服時に名前、何日、何食の 声出し確認も行っています。薬 変更後は状態が改善されたか 副作用が無いかなどを確認し 報告しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>個々で役割をもって頂き、ご 利用者様同士一緒に助け合いな がら過ごせるようにしています。 お酒も相談にのって対応してい り、個別の楽しみが継続でき るようにしています。花や野菜 を育てるので好きな方は玄関 や中庭で植えられます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>日常的な散歩に加え、花見や 紅葉狩りに出かけたりドライブ しながら昼食やデザートを食べ に行くなど、普段行けないよう なところへも希望に沿いなが ら出来る限りの外出支援を行 っています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>本人様が金銭を保管することは トラブルにつながるのでは、ご 家族様にその旨をお伝えし持 って帰っていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご自分より手紙を出されたりされることはないが、届いた手紙はご本人に手渡しています。電話がかかって来た時はご本人に代わりお話しして頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>中庭に季節の木や花を植えている。居室や共用部分は常に清潔にし、温度湿度管理を行い気持ちよく過ごして頂けるよう配慮しています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下にソファを置き中庭の花や木を眺めながら自由に座って頂ける様にしています。天気の良い時は中庭のベンチで日向ぼっこをされ、くつろいでおられます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時、好みの物や自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂くようにし、居室が落ち着く場所になるよう配慮しています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置してあり、安全面に配慮しています。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用しています。</p>		

V アウトカム項目(ひまわり) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひだまり

作成日 R2年12月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の定着年数、資格保有者が少ない、知識、技術や職場環境の向上を図る。	職員の定着、レベルアップ。	職場内外の研修を充実、資格取得の補助、給与体系の改善など職場環境や条件の整備に努める。	12ヶ月以内
2	4	家族アンケートに分からない回答が有り、運営推進会議に家族様の参加が少ない。	運営推進会議に家族様の参加を増やし支援内容など不明な所を聞いて頂けるような、なじみの関係を築く。	家族様に日頃から体調やご様子などの連絡を増やし、運営推進会議に参加して頂けるように勧める。	12ヶ月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。